

真言宗
御室派

薬園山長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方3丁目10番40号
TEL (086) 223-7450
FAX (086) 221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ www.chosenji.net

第 330 号

令和三年を迎えた。相変わらず、コロナによる社会混乱は続いている。

これまでの状況の推移から見てくるのは、インフルエンザなどと同様にウイルスを封じ込めるのはやっぱり不可能で、近い将来のワクチン実用に期待しつつ、医療崩壊を起こさないよう徐々に集団免疫を付けていくしかない、ということであろう。

それにしても、いつ誰がどこで罹患してもおかしくない状況である。自分もそのうち感染する、という覚悟を持っておいた方がよい。そうであればこそ、私たちは今どうあるべきか？

と、考えてはみるものの、答えは結局、特別なものではないように思う。とにかくひたすら

即身成仏

ひ と も し

今を一生懸命生きるほかにない。まわりにいる大切な人を大切にやる。やるべきことをしっかりとやる。たとえ今日死のうとも、精一杯生きた、と思いたい。

我が宗祖が説かれた「**即身成仏**」とは、私たちが成仏できるのは輪廻を繰り返した遙か来世ではなく「**即身**」、つまり「**今すぐ**」、という教えである。それは決して成仏は簡単だということではない。今すぐ仏の如く生きよ、という仏道の実践を指す。即身に成仏するという目的は、同時にその手段でもあるのだ。

成仏はゴールであるとともにスタートである。コロナ禍も平常時も生き方に変わりはない。後悔のないように、新年も日々を大切に生きよう。(龍)

除災招福 厄除祈願

節分 星供養法会

2月2日(火) 19時 寺内僧侶のみで奉修

今年の節分は、新型肺炎流行のため参拝できません。ご了承下さい。

厄年の御方は厄払いのお供物をご持参ください。

節分祈願札をご希望の方は、当山ホームページより、

もしくは別紙案内用紙をご記入の上、事前に寺務所まで申込み下さい(千円/一願)。

新年のご挨拶

総代長 岩見徹



新年あけましておめでとうございます。

日ごろはお寺のことにつきまして何かとご支援ご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

無事に新年を迎えることができたということはおめでたいことなのですが、今年に限っては、あまりおめでたいと思えません。言うまでもなくコロナウイルス感染症のせいです。昨年はコロナで一年が過ぎてしまったという感じがしますが、特に十一月以降は、第三次の爆発的蔓延により各地で医療崩壊の兆候が叫ばれるなど危機的な状況

になってまいりました。そして、一月七日の首都圏をはじめとして、十一都府県に二回目の緊急事態宣言が発令され（一月十三日現在）、全国的な感染拡大を阻止しようという動きが高まっているところではあります。

お寺に関しても例年行事の縮小あるいは中止、檀家回りの方法変更などいろいろなところが影響が出てまいりましたが、みなさま方のご協力をいただき何とか無事に務めることができました。

今年の願いは？と尋ねられたら、国民の大多数が「コロナの終息です」と答えると思います。今年の干支である牛にならって、粘り強く辛抱強く戦っていく必要があると思います。本当に一日も早く平穏な生活が戻ってくることを願って止みません。

総代会といたしましても、皆の周知を集め、お寺の健全な運営に当たりたいと思っております。よろしく願います。

結びになります。皆様方にとって今年一年がコロナに負けず健康で、災いのない年になります。祈念いたしました。挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて 住職 龍門



新年あけましておめでとうございます。日頃より当山へご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

昨年より新型コロナウイルスの流行が続いております。多くの方が不安でしょうし、経済的損害を受けていらっしゃる方、すでに罹患された方もいらっしゃるかもしれません。皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

とにかく今は、新型コロナ禍の早期収束が祈られることひた

すらであります。檀信徒皆様とも力を合わせて、令和三年を「コロナを克服する一年」にしたいと切に願っております。

他方で今年は、それだけで終わりません。春には東日本大震災から十年を迎えます。私は十年前、震災から一週間後の三月十八日から十日間、津波の傷跡激しい岩手県釜石市でボランティアをさせていただきました。

特に、避難所となった釜石大観音・石應禅寺様では、毎朝の勤行に出させていただいたご縁で、同寺ご住職より遺体安置所での読経をご依頼いただき、釜石市内三カ所の遺体安置所（旧学校体育館）で、ご供養をさせていただきました。無念の死を遂げられた幾多の精霊に回向を捧げるべく、被災者の方々と共に祈った経験は、僧侶である自分自身にとつて、その後の大きな財産ともなりました。

東日本大震災をはじめ、災害で亡くなられた全ての御霊に供

養を捧げるとともに、被災された方々の安寧を祈る次第です。

また、夏には平和の祭典——オリンピックが予定されており、さらに九月には米国同時多発テロ事件から二十年を迎えることとなります。三十年続いた平成は災害の多い時代でもありましたが、世界的に見るとテロリズムが脅威となった時代だったと言えるでしょう。

私も子を持つ父親の一人ですが、戦禍に生きる子どもたちを想うと胸が強く痛みます。いかにしてそのような悲しみを減らしていくのか、人類の英知を集める必要があります。

令和となつて三年目を迎える今年、どうか世界が平和で、貧困や差別などの苦しみが少ない世界であつてほしいと願つてやみません。

本年も、みほとけの教えに則し、檀信徒皆様とより良い世界に向けて歩みを共にしたいと考えております。

大般若法会 正月8日



『大般若波羅蜜多經』（以下、

大般若經）』を転読し、新年の無事安泰を祈願する「大般若法会」を正月8日、本尊薬師如来の本年初のご縁日に奉修しました。

般若空の教えを説く大般若經は、玄奘三蔵がインドから唐に持ち帰り、四年の歳月をかけて翻訳された六百巻におよぶ大経です。我が国では奈良時代から宮中や大寺院で同経が読まれ、国家安泰が祈られてきました。当山では毎年正月八日に同法会を奉修し、檀信徒皆様の一年

の安泰を祈願しております。今年には新型コロナウイルスの流行により、参拝者皆様には事前の体調確認やマスク着用などの感染防止対策を行つていただいた上での縮小開催となり、毎年恒例となつている余興やお接待も差し控えさせていただきました。新年が、コロナ禍を克服する一年と成り、皆様が健やかで心豊かに過ごせますよう至心に祈念する次第です。

ご協力頂きました全ての皆様には心より御礼申し上げます。



除夜の鐘



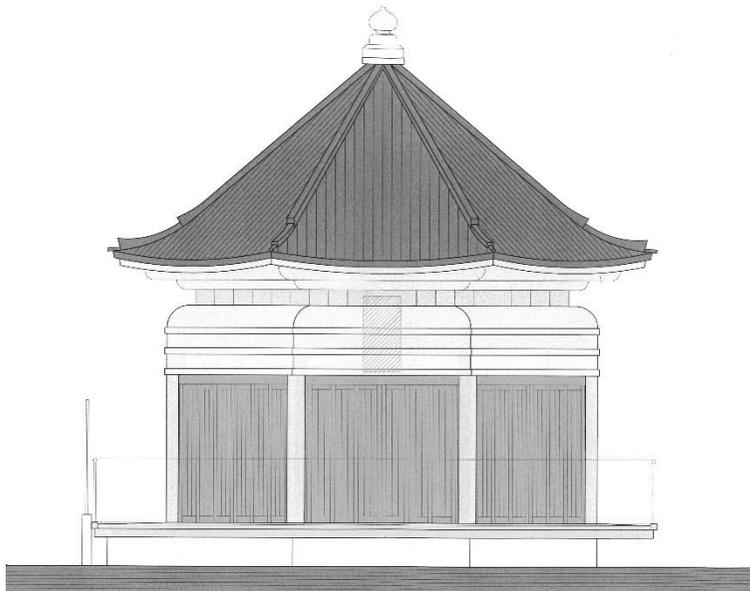
大晦日から新年元旦にかけ、当山鐘樓門では「除夜の鐘」が開催されました。なお、ご参拝者皆様には、新型コロナウイルス感染防止のため、マスクとビニール手袋をご着用いただき、恒例のお接待も差し控えさせていただきました。いただいた形での奉修となりました。

新型コロナウイルス流行の影響で、例年よりもご参拝は少ないものとなりましたが、穏やかな祈りとともに新年を迎えることができました。

ご協力いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

檀越精霊供養 八角円堂(仮称)の建立工事について

長泉寺「八角円堂」新築デザイン原案図



当山第十五期総代会は、現在の境内墓地の一部(本堂西側・樂陽廟前)に、永代供養をされている方をはじめ、檀信徒がお寺で法事を行うための新堂建立工事を、本年夏より開始することを決意いたしました。

新堂は、一般に「八角円堂」と呼ばれる造りで、同造で有名な国宝法隆寺夢殿が聖徳太子を供養する御堂であるように、当山檀越精霊を供養することがその目的です。

時代の変化の中で年忌法事も少人数で行うことが増えてきておりますが、さらにこの度の新型コロナウイルス禍の中で、密閉空間に人が集まることへの不安が拡がり、お寺としても今の時代に合う御堂が求められております。

新堂は、鉄筋コンクリート(RC)造で、高さ約8m、広さは約40㎡(約十二坪)となる予定です。

特徴としては、八面ある壁のうち五面が建具の構造となっており、それらを広く開放することで部屋の内部と外部が一体となり、とても広い空間を持つことが可能です。

バリアフリーにもなっていますので、すべての檀信徒皆様に安心してお寺での法事を行っていただけるかと存じます。※もちろん本堂で法事をする 것도可能です。

なお、建設費用は当山別途会計より支出予定で、檀信徒皆様に費用負担をお願いすることはありません。

落慶は令和4年4月を予定しており、それまで一年弱にわたって工事が進められます。

檀信徒皆様にはその間、お参りの際にご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、どうかご理解ご協力いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

ボランティア基金會便り

いつも心温まるご支援、実ありがとうございます。いただいた志納金は、人道援助宗教NGO ネットワーク(RNN)を通じて、特定非営利活動法人AMDAに委託されます。

☆志納金 二六、三七二円

令和二年九月六日〜令和三年一月十日

内訳

・ボランティア基金募金

一九、三七二円

佐藤恭子、長江志満子、山根俊子、山田紀香、真部京子、湯浅章夫、石原緝吾、原田清子、石村庄右、石村邦子、沖田武司 以上十一名

・東日本大震災救援募金

七、〇〇〇円

山口憲、佐藤恭子、長江志満子、山根俊子、山田紀香、田井万代、石原敏江、原田清子、石村庄右、石村邦子 以上十名

御七日御修法

本年一年の鎮護国家を祈る我が宗最尊の法会「御七日御修法」が、今月八日より七日

間、京都市南区の東寺（教王護国寺）にて奉修されました。

道場である東寺灌頂院には、法会に先立って宮内庁より届けられた天皇陛下の御衣が祀られた。本年の御修法大阿闍梨である真言宗智山派総本山智積院化主・布施浄慧大僧正をはじめ、真言宗御室派総本山仁和寺門跡・瀬川大秀大僧正ら真言宗各山管長で構成される式衆皆様により祈りが捧げられました。

後七日御修法は、八三五年（平安時代）に宗祖弘法大師空海が宮中にて行つて以来、毎年正月七日から十四日にかけて真言宗を挙げて行われている大法です。明治の廃仏毀釈で一途絶えることもありましたが、明治十六年に東寺で再興され、今日まで継承されています。

西院流一流伝授 授法

当山龍門住職は昨年秋より、総本山仁和寺に相伝される

「西院流」という事相法儀を、大阪府茨木市大門寺住職で仁和伝法所元所長の添野智護師より授法し、学びを深めております（道場・安芸國分寺）。

とんど焼き

今月十四日、当山境内にて古塔婆や御札、御守、正月飾りなどを供養焼却する「とんど焼き」が奉修されました。



日本語と真言宗 名誉住職 光研

お寺とは何か？

寺とは中国語で「ジ」または「スウ」と読みます。なぜ日本語では「てら」と読むのでしょうか。

それは地域社会を明るくテラス（照らす）からだと言学者で真言僧の契中（江戸時代中期）は伝えています。即ち「寺は丹青色をまじえて、その光のてらす故に名づくか」と。

日本に瓦屋根がもたらされたのは仏教伝来と同時期で、中国から朝鮮半島を経由して伝えられました。注目すべきは瓦（カハラ）という読み方で、それはサンスクリット（梵語）、即ちインド語なのです。

この他に、葦（イラカ）もそうで、光沢のある屋根にみる仏教寺院をイメージしたのでしようか。「青丹よし 奈良の都は咲く花の匂うが如く 今盛りなり」

（万葉集卷三・小野老）と歌われたらびやかさが、古代仏教にあったのだろうと思いきこされます。

地域にあつて夢のごとく光かがやくお寺。天台宗の標語にも「一隅を照らす」とあり、真言宗では「遍照——あまねく照らす」が宗祖空海の密教名です。

また、インドではお寺のことを「アランニヤ（閑静処）」、あるいは「ビハーラ（安息所）」と呼びます。里から遠からず、山があり、流水の近くに建っていることが多い寺院ですが、そこに住む者が「サンガ（僧伽）」と訳されます。「和合衆（共同体）」と訳されます。個人ではなく法人であることがその肝要です。

続



令和三年 年回忌表

一 周忌 令和二年没

三 回忌 平成三十一年没

令和元年没

七 回忌 平成二十七年没

十三回忌 平成二十一年没

十七回忌 平成十七年没

二十三回忌 平成十一年没

二十五回忌 平成九年没

二十七回忌 平成七年没

三十三回忌 昭和六十四年没

平成元年没

五十回忌 昭和四十七年没

年忌法事は忘れないように気をつけ
ましょう。

年忌にあたらぬ場合や、新型コロナウイルス感染症を鑑み御親族との法事を見送る場合などでも、当山よりお参りに行くことは可能です。ご遠慮なくお問合せ下さい。

RNN 人道援助宗教 NGO ネットワーク 東日本大震災 10 年忌慰霊祭

3 月 11 日 午後 2 時 40 分～

於：黒住教本部日拝所 岡山市北区尾上神道山
宗教 宗派を超えて 共に祈りを捧げます



長泉寺月次縁日法会へ
どうぞご参拝ください

毎月 8 日 9 時～ 本尊縁日法会

21 日 9 時～ 大師縁日法会

〃 10 時半～ 法話

28 日 9 時～ 不動縁日護摩供

ご参拝時には、健康状態をお確かめの
上、マスク着用をお願いいたします

3.11 から 10 年を迎えます。

失われた多くのいのちを悼み、

一人ひとりができることを考えるために、

今年も祈りのつどいとさよなら脱原発ウォークを行います。

3 月 7 日 (日)

13:00～ 天神山文化プラザ 1 階ホール 岡山市北区天神町 8-54

ゲスト：おしどりマコ&ケン (講演)

※コロナの状況によりオンラインでの開催になることがあります

主催 3.11 への祈り おかやま実行委員会



3.11 への祈り

— 追悼と脱原発のつどい —

お寺便り『いづみ』のペーパーレス化にご協力下さい

現在、長泉寺便り『いづみ』は、全檀家様に郵送等で配布させていただいておりますが、可能な御方には、環境保全の観点から、長泉寺より『いづみ』をダイレクトメールでお送りさせていただきたいと考えております。すでにご登録をいただいたお方には御礼申し上げます。

ご対応いただけます檀徒様には、下記アドレスまでお名前とご住所を記載の上、メールをご送信下さい。お手数をおかけし恐縮ですが、よろしく願いたします。

送信メールアドレス：idumi@chosenji.net